



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年6月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライステージ

コード番号 2178 URL <http://www.tri-stage.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 妹尾 勲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 野口 卓

TEL 03-5402-4111

四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	7,829	△16.5	217	△63.3	220	△62.8	125	△61.5
24年2月期第1四半期	9,381	2.7	591	△25.9	593	△26.0	327	△31.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	17.02	16.88
24年2月期第1四半期	43.47	42.99

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	11,130	8,228	73.9
24年2月期	11,267	8,250	73.2

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 8,228百万円 24年2月期 8,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,430	△15.9	604	△49.0	604	△49.2	350	△48.5	47.39
通期	33,120	△4.9	1,362	△31.2	1,362	△31.5	790	△31.1	106.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	7,545,900 株	24年2月期	7,543,800 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	150,204 株	24年2月期	150,147 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	7,395,248 株	24年2月期1Q	7,527,671 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信(添付資料)P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	5
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州の政府債務危機を巡る不確実性を背景とした金融資本市場の変動や海外景気の下振れ懸念等、景気を下押しするリスクが存在し、また、電力供給の制約や原油高の影響、デフレの影響等もあり、依然として厳しい状況にあるものの、東日本大震災の復興需要等を背景として、個人消費には緩やかな回復の動きが見られました。

一方、当社の顧客企業が属するダイレクトマーケティング市場は、通信販売の定着とともに依然として拡大基調が続いているものの、市場規模が拡大したことから、その伸長率は鈍化傾向となっております。

このような環境の下、当社はダイレクトマーケティング実施企業に対してバリューチェーンの各局面で最適なソリューションを提供するべく努めてまいりました。

テレビCM市場の活況に伴い、テレビCM枠や一部テレビ番組枠の仕入価格が当社の想定を上回り、見込み通りの仕入れが果たせなかったこと等の理由により、前事業年度に引き続き、当社の売上高及び収益性は低下しましたが、一部の効率の悪いテレビ番組枠の返還等、当社が確保するテレビCM枠やテレビ番組枠の見直しや、新たな業種・領域の顧客企業の発掘等により、当社の売上高及び収益性の向上に取り組んでおります。

また、新たなビジネスの構築における中期的な成長戦略として位置付けた「WEBビジネスの推進」、「CRMビジネスの推進」、「国際ビジネスの推進」を推し進めるべく、体制づくりと人材づくりに取り組んでおります。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は7,829,788千円(前年同期比16.5%減)、売上総利益は645,477千円(前年同期比33.0%減)となりました。販売費及び一般管理費は428,203千円(前年同期比15.0%増)となり、その結果、営業利益は217,273千円(前年同期比63.3%減)、経常利益は220,615千円(前年同期比62.8%減)となりました。また、税引前四半期純利益220,606千円(前年同期比60.3%減)から法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計94,710千円を差引後、四半期純利益は125,896千円(前年同期比61.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して136,354千円減少し、11,130,903千円となりました。

これは主に月次売上高が減少したことにより売掛金残高が136,837千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して114,690千円減少し、2,902,385千円となりました。

これは主に固定資産の取得費用及び賞与の支払いにより未払金が171,749千円減少した一方、賞与引当金が60,735千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比較して21,664千円減少し、8,228,517千円となりました。

これは主に四半期純利益を125,896千円計上した一方、配当金の支払いが147,873千円発生したこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、平成24年3月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,178,955	7,201,705
売掛金	3,655,893	3,519,056
商品	165	165
その他	107,955	103,400
貸倒引当金	△65,490	△64,677
流動資産合計	10,877,479	10,759,649
固定資産		
有形固定資産	127,786	117,367
無形固定資産	79,685	74,459
投資その他の資産	182,306	179,426
固定資産合計	389,779	371,253
資産合計	11,267,258	11,130,903
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,531,381	2,543,129
未払法人税等	166,728	114,744
賞与引当金	—	60,735
その他	240,664	102,643
流動負債合計	2,938,773	2,821,252
固定負債		
退職給付引当金	38,676	41,389
資産除去債務	39,625	39,743
固定負債合計	78,302	81,133
負債合計	3,017,076	2,902,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	635,638	635,821
資本剰余金	625,638	625,821
利益剰余金	7,136,984	7,115,007
自己株式	△148,080	△148,133
株主資本合計	8,250,182	8,228,517
純資産合計	8,250,182	8,228,517
負債純資産合計	11,267,258	11,130,903

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	9,381,230	7,829,788
売上原価	8,417,573	7,184,311
売上総利益	963,657	645,477
販売費及び一般管理費	372,204	428,203
営業利益	591,452	217,273
営業外収益		
受取利息	1,999	1,820
貸倒引当金戻入額	—	813
その他	142	882
営業外収益合計	2,141	3,516
営業外費用		
支払利息	13	129
為替差損	—	44
その他	0	—
営業外費用合計	13	173
経常利益	593,581	220,615
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,031	—
特別利益合計	4,031	—
特別損失		
固定資産除却損	—	9
災害義援金	30,000	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,508	—
特別損失合計	41,508	9
税引前四半期純利益	556,104	220,606
法人税、住民税及び事業税	224,991	112,348
法人税等調整額	3,874	△17,638
法人税等合計	228,865	94,710
四半期純利益	327,239	125,896

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。